

## プレスリリース

## オンセミ、2026年第1四半期の決算を発表

## 営業利益の前年比成長率が売上成長率の2倍に

オンセミ(本社: 米国アリゾナ州スコッツデール、Nasdaq: ON)は、2026年第1四半期の決算結果を発表しました。

## 主なハイライト:

- 売上高は15億1,300万ドルで当社ガイダンスの中間値を上回る
- GAAPベースおよび非GAAPベースの売上総利益率はともに38.5%
- GAAPベースの営業利益率は(3.5)%, 非GAAPベースの営業利益率は19.1%
- GAAPベースの希薄化後1株当たり損失は(0.08)ドル、非GAAPベースの希薄化後1株当たり利益は0.64ドル
- 自社株買いは3億4,600万ドルで、フリー・キャッシュ・フローの約160%に相当

オンセミで社長兼CEOを務めるハッサーン・エル・コーリー(Hassane El-Khoury)は、次のように述べています。「この四半期を通じて需要が堅調に推移し、景気循環の底を脱して回復軌道に乗ったことで、業績は予想を上回る結果となりました。当社のAIデータセンター向け事業は勢いを増しており、前期比で30%以上の成長を達成しました。今後の見通しについては、当社の事業の健全な基盤に加え、自動車、産業機器、そしてAIデータセンターの各分野における半導体需要の増加がもたらす長期的な機会に期待を寄せています」

オンセミでEVP兼CFOを務めるサッド・トレント(Thad Trent)は、次のように述べています。「業務改善によって営業利益が前年比10%増となり、売上成長率の2倍の伸びを記録する強力な営業レバレッジを実現しました。当社の強固なポートフォリオと最適化されたコスト構造により、市場環境の継続的な改善に伴い、利益率と収益をさらに向上させる態勢が整っています。今後も引き続き、強固なフリー・キャッシュ・フローを生み出し、株主への還元を行います。規律あるアプローチを通じて、株主に対する長期的な価値創造を継続することに注力してまいります」

## 事業ハイライト:

- 複数のチップベンダーや主要なハイパースケーラーがパワーツリー全体で採用を拡大した結果、AIデータセンターの売上高が前年比で2倍以上に増加
- オンセミのEliteSiCは、航続距離の延長や急速充電を可能にし、900V EVアーキテクチャへの移行で業界をリード。吉利汽車(Geely)やNIOとの協業も拡大
- Treoベースの10BASE-T1Sイーサネットソリューションの量産出荷を開始して、北米の主要OEMにおける次世代ゾーンアーキテクチャを支援し、ソフトウェア定義車両(SDV)のモメンタムを加速
- Sineng Electricの430kW液冷式エネルギー貯蔵システムおよび320kWソーラーインバーター向け電源として、新たなデザインインの獲得を発表

## テレカンファレンス

オンセミは、2026年5月4日(米国東部時間)午後5時より、金融コミュニティ向けのカンファレンスコールを開催し、本発表内容および2026年第1四半期決算について説明します。本カンファレンスコールの様子は、オンセミ公式ウェブサイトのインベスター・リレーションズページ(<http://www.onsemi.com>)にて、リアルタイム音声ウェブキャストとして配信されます。ウェブキャストのリプレイは、ライブ配信終了後約1時間後より同サイト上で視聴可能となり、約30日間提供される予定です。また、投資家および関係者の皆さまは、[こちらより](#)事前登録によりカンファレンスコールへ参加することも可能です。

Selected financial results for the quarter are shown below with comparable periods (unaudited):

(Revenue and Net Income in millions)	GAAP			Non-GAAP		
	Q1 2026	Q4 2025	Q1 2025	Q1 2026	Q4 2025	Q1 2025
Revenue	\$1,513.3	\$1,530.1	\$1,445.7	\$1,513.3	\$1,530.1	\$1,445.7
Gross Margin	38.5 %	36.0 %	20.3 %	38.5 %	38.2 %	40.0 %
Operating Margin	(3.5)%	13.1 %	(39.7)%	19.1 %	19.8 %	18.3 %
Net Income (loss) attributable to ON Semiconductor Corporation	(\$33.4)	\$181.8	(\$486.1)	\$253.1	\$257.2	\$231.6
Diluted Earnings (loss) Per Share	(\$0.08)	\$0.45	(\$1.15)	\$0.64	\$0.64	\$0.55

### First Quarter Results

#### Revenue Summary

(in millions)

(Unaudited)

Business Segment	Quarters Ended			Sequential Change	Year-over-Year Change
	Q1 2026	Q4 2025	Q1 2025		
PSG	\$ 736.6	\$ 724.2	\$ 645.1	2 %	14 %
AMG	540.4	556.3	566.4	(3)%	(5)%
ISG	236.3	249.6	234.2	(5)%	1 %
Total	\$ 1,513.3	\$ 1,530.1	\$ 1,445.7	(1)%	5 %

### Revenue Summary

## SECOND QUARTER 2026 OUTLOOK

The following table outlines onsemi's projected second quarter of 2026 GAAP and non-GAAP outlook.

	Total onsemi GAAP	Special Items **	Total onsemi Non-GAAP***
Revenue	\$1,535 to \$1,635 million	-	\$1,535 to \$1,635 million
Gross Margin	37.9% to 39.9%	0.1%	38.0% to 40.0%
Operating Expenses	\$302 to \$317 million	\$15 million	\$287 to \$302 million
Other Income and Expense (including interest), net	(\$6 million)	-	(\$6 million)
Diluted Earnings Per Share	\$0.60 to \$0.72	\$0.05	\$0.65 to \$0.77
Diluted Shares Outstanding *	401 million	7 million	394 million

### Second Quarter 2026 Outlook

\* 希薄化後発行済株式数は、制限付ストックユニットの権利確定、当社の転換社債型上位劣後債による希薄化株式の増加、株式や転換社債の買戻しや発行、自己株式の売却などの結果により、変動する可能性があります。四半期毎の1株当たり平均株価が0%債券は52.97ドル、0.50%債券で103.87ドルを超える期間において、非GAAPベースの希薄化後株数および1株当たり当期純利益は、それぞれ0%債券および0.50%債券と同時に発行した当社のヘッジ取引による希薄化への影響を含んでいます。1株当たり平均株価が0%債券は52.97米ドルから74.34米ドル、0.50%債券は103.87

米ドルから 156.78 米ドルで、当社のヘッジ取引は 0%債券および 0.50%債券の希薄化の影響をそれぞれ相殺しています。四半期平均株価が 0%債は 74.34 米ドル、0.50%債は 156.78 米ドルを超える期間には、これらの債券と同時に発行されたワラントの希薄化の影響も希薄化後発行済株式数に含まれます。GAAP ベースおよび非 GAAP ベースの希薄化後発行済株式数は、当社の前四半期の平均株価または前四半期末日現在の株価のいずれか高い方に基づいて計算されています。

\*\* 特別項目には、必要に応じて、買収にともなう無形固定資産の償却費、棚卸資産の評価性向上費用、購入した仕掛研究開発費、構造改革、資産減損およびその他(純額)、営業権および無形資産減損費用、借入金の期限前償還にともなう利益および損失、非現金支払利息、年金制度およびその他の年金給付数理(利益)およびその他の特別項目などが含まれています。これらの特別項目は、当社の管理外であり、各四半期で大きく変動する可能性があります。そのため、当社はこれらの特別項目の個別の影響額や重要性を合理的に見積もり、個別に表示することはできません。同様に非 GAAP ベースの調整表も提供することができません。利用できない調整表には、GAAP に準拠した将来の損益計算書、貸借対照表およびキャッシュフロー計算書が含まれます。このため、当社は非 GAAP ベースの営業費用見通しを算出するにあたり、特別項目の総額の予測範囲を使用しています。

\*\*\* 当社は、これらの非 GAAP ベースの指標は投資家に対して重要な補足情報を提供するものと考えています。当社はこれらの指標を、社内管理上の目的および期間比較の評価手段として、GAAP ベースの指標と併せて使用しています。しかし、当社は非 GAAP ベースの財務指標のみを当社の業績評価指標として使用することはありませんし、また使用すべきではありません。当社は、非 GAAP ベースの財務指標が、当事業の側面を見るための追加的な方法を反映していると考えており、GAAP ベースの業績、および当社が公表している GAAP ベースの財務指標との調整表と合わせて考えると、当社の事業に影響を与える要因や傾向をより完全に理解できると考えています。また、非 GAAP ベースの財務指標は標準化されていないため、たとえ名称が類似していても、これらの財務指標を他社の非 GAAP ベースの財務指標と比較することは不可能な場合があります。

###

#### オンセミ(onsemi)について

オンセミ(Nasdaq: [ON](#))は、自動車、産業機器、AI データセンターといったエンドマーケットにおいて、電動化、エネルギー効率、安全性、オートメーションを実現するインテリジェントなパワーおよびセンシング技術を提供しています。オンセミは、競争力のある革新的な製品ポートフォリオを通じて、お客様が直面する複雑な課題の解決を支援し、より高い効率性と性能の向上、さらにシステムコストの低減を実現します。これにより、より安全でクリーン、そしてエネルギー効率の高い社会の実現に貢献しています。当社は S&P 500®インデックスに含まれています。オンセミの詳細については、[www.onsemi.jp](http://www.onsemi.jp)をご覧ください。

オンセミおよびオンセミのロゴは、Semiconductor Components Industries, LLC.の登録商標です。本ドキュメントに掲載されているその他のブランド名および製品名は、それぞれの所有者の登録商標または商標です。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

アリソン・アンド・パートナーズ株式会社 大塚

Email: [onsemi\\_japan\\_pr@allisonworldwide.com](mailto:onsemi_japan_pr@allisonworldwide.com)